



「わかやま産品販促支援事業 in シドニー」 開催報告

和歌山県商工観光労働部企業政策局企業振興課

■ はじめに

2012年10月15日から21日まで、和歌山県はクレアから2012年度海外経済活動支援特別対策事業による支援を受け、「わかやま産品販促支援事業 in シドニー」事業を実施しました。和歌山のプロモーション、商談、調査等を目的としたミッションで、機械企業1社、建具企業1社、食品企業5社の計県内7社が参加し、帰国後も含め約300万円の売り上げと、約900万円の引き合いがありました。

オーストラリアは人口約2,300万人、シドニー近郊には約430万人が在住し、日本人はシドニー近郊に約3万人在住しています。一定の市場規模がありますが、過去自治体のプロモーションはあまり実施されてこなかったようです。

県内企業のニーズがあり、また和歌山県庁から外務省への出向者が在シドニー日本国総領事館で現在勤務していること、一昨年までクレアシドニー事務所に和歌山県庁職員が派遣されていたこと、和歌山市の職員が現在同事務所に派遣されていること等の背景もあり、シドニーでの販促事業に取り組むこととなりました。現地に出向者・派遣者がいるとはいえ、それぞれに仕事があり、また担当分野も異なるので参加企業に精通しているわけではありません。具体的で直接的に有効な支援を出向者・派遣者に期待するのは難しいのが現実ですが、シドニーの出向者・派遣者は大変積極的に支援を行ってくれたため、事業は円滑に実施することができました。



シドニーオペラハウス

■ 事業の企画・準備

実施9か月前に各種の企画を行い、7か月前より準備を開始しました。

当初企画は、①和歌山プロモーション、②独自の商談会、③訪問商談、④市場調査等、⑤展示会への集団出展で構成していましたが、準備を進めていたところ、⑤展示会への集団出展については「オーストラリアに支店があること」、「会計士等からの推薦状が必要なこと」等、申し込み段階において複数の課題が判明し、出展希望企業では対応できないことがわかりましたので、⑤展示会への集団出展をあきらめ、①②③④で事業を構成することとなりました。

事前に各種の文献調査を行った上で、参加予定企業ごとに販売戦略を検討し、5月に事前調査のための出張を行いました。総領事館およびジェットロシドニーからも大変積極的なご支援をいただき、商社やレストラン関係者等とも意見交換させていただいた上で検討し、企画を決定しました。こういった事業を実施する際は、和歌山県では県内企業の参加数が課題になることもあります。以前からニーズを寄せていただいていた企業に声をかけたほか、6月にオーストラリアセミナーを開催して事業への参加を呼びかけました。

各種の準備は7か月前より開始しました。参加企業の募集、審査、決定、企業ニーズの確認、情報整理と英訳、パンフ作成・印刷、商品の法規制等の調査、商品サンプルの事前送付、参加者に向けての事前説明会、現地の各種事業調整など、必要な準備を着々と進めていきました。毎回準備段階で難しいのは、商談相手の紹介です。和歌山の商品を希望する現地企業を探し、商談会に来ていただかないといけません。そういった企業のリストを作るのも難しい上に、



招待状を送っただけでは来ていただけません。商談会を独自開催して来客が少ないと、実施した意味がなくなります。和歌山県ではさまざまな協力者に依頼するなどして商談会を実施してきています。

■ 実施事業

①和歌山プロモーション

在シドニー日本国総領事のご協力を得て、総領事公邸で和歌山プロモーションを実施しました。



和歌山プロモーション

梅酒で乾杯し、和歌山の観光や物産のプレゼンテーションを行い、梅干やグッズの配布、利き梅酒や和歌山DVD放映、みかんジュースを使ったデザート・和歌山の酢・醤油・金山寺味噌の試食、試供など和歌山づくしの夕べとなりました。

②独自の商談会

ジェットロの会場をお借りして商談会を開催しました。30社以上の方にご来訪いただき、各社商談を行いました。会場は多



ジェットロ商談会の風景

くの人であふれ、盛況で予定時間に商談が終わらず、時間を延長して実施しました。

③訪問商談

商社や小売店等を訪問して商談を行いました。プロモーション事業や独自商談会で商品を見ていただき、興味を持っていただいた企業を再訪問して商談を行ったケースもありました。相手企業からコラボレーションの話や工場進出の話もいただき、意義のある訪問となりました。

④市場調査等

空き時間を活用し、小売店等の市場調査を行いました。日系社会はさほど大きくありませんが、シドニーには韓国人や中国人が多く、アジアマーケットが発達していました。オーストラリアの食品小売市場は、コールス、ウールワースといったチェーンスーパーが70%以上のシェアを占めていること、それらチェーン店に商品を卸している日本企業は少ないこと、その理由等各種情報を調べることができました。

■ 和歌山県のその他事業

和歌山県の仁坂吉伸知事は経済産業省出身で、イタリアのジェトロミラノでの勤務や日本貿易会理事、ブルネイ大使等を



シドニー近郊の港

歴任したことから、その経験を活かし、産業振興や企業の海外販路開拓支援など商工施策に熱心に取り組んでいます。和歌山県では、仁坂知事のリーダーシップのもと、2012年度は海外販促事業として、シドニー以外にも、ニューヨーク、イスタンブールでの独自商談会の開催、フランスや米国での見本市独自出展やさまざまな展示会への出展支援、シンガポール・香港・台湾等アジアでの和歌山フェア、海外ブランドのバイヤー^{しょうへい}招聘、セミナー・各種相談会の開催、地場産業の外国語パンフレット作成、県内企業海外展開状況調査などを行いました。今後も積極的に各種事業に取り組んでいきたいと考えています。

■ まとめに

今回の事業は県内やシドニーの新聞等7紙に取り上げていただきました。どんな事業でも一回実施ただけでは効果が薄く、準備やフォローアップ、継続が重要です。今回の事業で多くの人脈を構築することができ、また現地情報も入手できましたので、継続して事業を実施していきたいと考えています。和歌山県庁は海外販促事業を担当する職員数が多くなく、また高い経験値もありません。クリアをはじめ、在シドニー日本国総領事館、ジェトロシドニー事務所、商社、レストラン、メディア等現地の方々のご協力があり、なんとか手探りで事業を実施している状況です。

少ない機会や好条件を十分に活用できるよう、一件一件しっかりと準備し、成果を出していくことが重要です。特に費用対効果については、行政の自己満足に終わることのないよう厳しく考えていく必要があります。今後フォローアップを継続し、さらなる販売促進を行っていきたいと考えています。